

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

法人税法に規定する定額法を採用しております。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	309,213,840	0	0	309,213,840
建物	605,655,005	0	12,466,312	593,188,693
建物附属設備	109,220,418	429,000	8,001,155	101,648,263
構築物	16,495,476	0	1,213,605	15,281,871
小 計	1,040,584,739	429,000	21,681,072	1,019,332,667
特定資産				
投資有価証券	0	20,000,000	0	20,000,000
定期預金	0	0	0	0
預敷金引当資産	0	0	0	0
預保証金引当資産	3,200,000	0	0	3,200,000
小 計	3,200,000	20,000,000	0	23,200,000
合 計	1,043,784,739	20,429,000	21,681,072	1,042,532,667

(注) 建物及び建物附属設備の当期減少額は、税務指導のためと減価償却費と残存金額である。

(注)

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当期末残高
建物	623,315,613	30,126,920	593,188,693
建物付属設備	120,960,634	19,312,371	101,648,263
構築物	18,113,531	2,831,660	15,281,871
什器備品	11,955,350	3,680,882	8,274,468
リース資産	4,426,320	3,072,516	1,353,804
ソフトウェア	0	0	0
合 計	778,771,448	59,024,349	719,747,099

4. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	69,835,436	71,743,701
その他資産	10,000	10,000
前払費用	0	23,732
未収入金	15,797,397	16,271,210
仮払金	0	0
合 計	85,642,833	88,048,643
未払金	325,633	273,394
リース未払金	2,239,068	1,353,804
預り金	139,500	225,605
前受金	0	1,254,000
	0	0
	0	0
合 計	2,704,201	3,106,803
差引： 次期繰越収支差額	82,938,632	84,941,840